

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	地域産業政策 (Regional Industry Policy)					担当教員	牧野 智一 (マキノ トモカズ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	地域志向科目／知識定着・確認 型AL
	2037-1-33-099	専門科目	選択	2単位	3年次	前期		
2024-26年度 入学者(24K-26K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	地域志向科目／知識定着・確認 型AL
	2437-1-33-038	専門科目	選択	2単位	3年次	前期		

① 授業のねらい・概要						
<p>地域産業政策とは、国や地方自治体が地方の経済・産業振興のために行う政策である。長引く不況の中、大都市圏と地方の間の経済格差が大きな問題になっている。この地域間の格差を解消し景気を回復するためには、地域産業に対する振興政策により地域の活性化が必要となる。</p> <p>本講義では、地域産業政策の効果や各地で行われている地域産業政策について学修する。本講義の最終的な目的は、地域産業政策に関する理論についての知識を身につけた上で、現実に行われている政策の諸問題を自らの判断で考察する能力を養うことである。</p>						
② ディプロマ・ポリシーとの関連						
地域社会に貢献する姿勢／職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力／情報収集・分析力						
③ 授業の進め方・指示事項						
講義形式の授業を行う。各回の授業内容は関連しているため、十分な復習をした上で授業に臨むこと。						
④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能						
「マクロ経済学」「ミクロ経済学」の知識を有すること。「地方行政」「地域経営」と共に履修することを推奨する。						
⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。						
なし。適宜、資料等のプリントを配布する。						
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。						
伊藤正昭(2011)『新地域産業論』学文社 河藤佳彦(2008)『地域産業政策の新展開』文眞堂						
⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)						
昨年度に引き続き、学生諸君が授業内容を理解しやすいように、わかりやすい表現と丁寧な解説を心掛けて授業を行う。						
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安						
(1) 授業で取り上げた産業の社会や地域における役割を他者に適切に説明できる。 (2) 授業で取り上げた地域産業政策に関連する知識の全般を他者にある程度説明できる。 (3) 自治体による地域産業政策を調べてまとめ、それらの政策について授業内容を関連させた考察が大半でできている。						
⑨ ルーブリック						
評価基準	S	A	B	C	D	
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する	
(1) 産業の社会における役割や地域産業の地域における役割	授業で取り上げた産業の社会や地域における役割を他者に一貫性をもって適切に説明できる。	授業で取り上げた産業の社会や地域における役割を他者に適切に説明できる。	授業で取り上げた産業の社会や地域における役割を概ね説明できるが、説明に一部不十分な点がある。	授業で取り上げた産業の社会や地域における役割を他者に自力で説明することは困難である。	授業で取り上げた産業の社会や地域における役割を理解が不十分で、説明することができない。	
(2) 地域産業政策に関連する知識(政策・産業領域、担い手)	授業で取り上げた地域産業政策に関連する知識の全般を他者に適切に説明できる。	授業で取り上げた地域産業政策に関連する知識の全般を他者にある程度説明できる。	授業で取り上げた地域産業政策に関連する知識の大半を他者にある程度説明できる。	授業で取り上げた地域産業政策に関連する知識の一部は他者にある程度説明できる。	授業で取り上げた地域産業政策に関連する知識を他者にほとんど説明できない。	
(3) 自治体による地域産業政策の考察	自治体による地域産業政策を調べてまとめ、それらの政策について授業内容を関連させた考察が適切にできている。	自治体による地域産業政策を調べてまとめ、それらの政策について授業内容を関連させた考察が大半でできている。	自治体による地域産業政策を調べてまとめ、それらの政策について授業内容を関連させた考察がある程度できている。	自治体による地域産業政策を調べてまとめただけで、それらの政策について授業内容を関連させた考察ができていない。	自治体による地域産業政策を調べることも、それらの政策について授業内容を関連させた考察も行うことができない。	

⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計	
総合評価割合	70%				30%		100%	
(1) 産業の社会における役割や地域産業の地域における役割	15%				10%		25%	
(2) 地域産業政策に関連する知識（政策・産業領域、担い手）	15%				10%		25%	
(3) 自治体による地域産業政策の考察	40%				10%		50%	
評価項目「その他」詳細								
フィードバックの方法	試験結果の得点分布等を公表する。							
⑪ 授業計画と学習課題								
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）						
1	オリエンテーション	地域産業政策の必要性を自分なりの考えてくる						60分
2	産業とは	産業に対する理解						180分
3	産業の社会における役割	産業の社会における役割の理解						180分
4	地域産業の地域における役割	地域産業の地域における役割の理解						180分
5	地域産業政策の概念①（産業政策と地域政策）	産業政策と地域政策についての理解						180分
6	地域産業政策の概念②（中小企業政策との関連性）	中小企業政策と地域産業政策の関連性の理解						180分
7	地域産業政策の政策領域	地域産業政策の政策領域についての理解						180分
8	地域産業政策の産業領域	地域産業政策の産業領域についての理解						180分
9	地域産業政策の担い手	地域産業政策の担い手と関連についての理解						180分
10	地域資源と地域の産業特性	地域資源と地域の産業特性の関係の理解						180分
11	地域産業政策の現状①（新潟県）	新潟県の産業政策の現状の理解						180分
12	地域産業政策の現状②（県内市町村1）	県内市町村の産業政策の現状の理解						180分
13	地域産業政策の現状③（県内市町村2）	県内市町村の産業政策の現状の理解						180分
14	地域産業政策の課題	地域産業政策の現状と課題についての考察						180分
15	まとめ	各回の講義内容の整理と理解						240分
⑫ アクティブラーニングについて								
知識定着・確認型ALを採用する。各回の授業に対するコメント（感想・質問等）を学生諸君よりもらい、翌週の授業で可能な限りコメントに対する回答を行い、学修効果の向上に活用する。								

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の概要	
実務経験と授業科目との関連性	